令和６年度卓越した技能者（現代の名工）被表彰者名簿

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 職種名 | ふりがな  氏　　　　名  （年　齢） | 所　　　属 | 技　能　功　績　の　概　要 |
| 金属材料検査工 | なかがわ　かずとも  中川　一知  （４８歳） | 独立行政法人造幣局 | 円形（えんぎょう…金属板から打ちぬかれた円板で貨幣の模様が付けられる前のもの）の硬さ、大きさ、量目、厚さ、縁形状等の的確な検査をはじめとする品質管理に従事し、長年の経験により得た円形の良否を見分ける眼力並びに圧穿、圧縁及び計数において高度な成形技能を有している。  特に、令和三年に改鋳された500円バイカラー・クラッド貨幣の製造体制の確立や、日本の貨幣とは特性が異なる材質を用いた外国貨幣の製造完遂においては、優れた技能や深い知見をもって多大な貢献をした。 |
| 彫金工 | かめい　ひさかず  亀井　久和  （６０歳） | 独立行政法人造幣局 | 貴金属製品や鋳塊等に打刻する品位証明記号印などの多種多様な打込印の製作業務に40年以上にわたって従事しており、特に、機械彫刻後の打込印の印面の修正作業においては、微細な模様が鮮明に転写されるよう、精密ヤスリやキサゲ等の道具を用いて精緻で美麗な印面に仕上げる熟練した技能を有している。  また、従来の方法を見直し、新たな設備を用いることで製造時間を１／３に短縮したり、印面部分を交換可能なチップ形式に改良することで材料を大幅に削減したりと効率化に貢献している。 |
| 農業用機械組立工 | はまさき　しょうじ  濵﨑　省治  （５６歳） | 株式会社クボタ  堺製造所 | 農業用トラクタの組立及びその組立ラインの構築・改善に関する優れた技能と経験を有する第一人者として活躍している。  特に、作業の部分自動化システムの構築や治具・工具並びに組み付け部品を組立作業者の「手元化」に改善する考案によって、多機種少量生産の中で品質を確保し、安定した市場供給、作業効率、安全性の飛躍的な向上に多大な貢献をした。また次期監督職向け教育の講師や技能検定への指導等、後進育成面でも多くの貢献を果たしている。 |
| 職種名 | ふりがな  氏　　　　名  （年　齢） | 所　　　属 | 技　能　功　績　の　概　要 |
| 理容師 | ますだ　なおや  増田　直也  （６５歳） | HAIR PLANNING VISION | 数多の理容技術コンテストで研鑽を積み、上位入賞を果たしたヘアカット・カラー各々の技術を根底とし、各顧客の個性、頭骨、毛質、毛量という決定的な要素を踏まえ「シルバー世代に対するメンタルケア」を基本にトータルカウンセリングを行う。そしてヘアカラーを通じてデザインも重視する提案が好評を博した。全国の理容組合をはじめ多くの団体・学校等で後進技能者の指導育成並びにコンテスト審査員及び運営委員長を務める等、理容業界第一人者である。 |
| 日本料理調理人 | まつお　ひであき  松尾　英明  （６１歳） | 株式会社柏屋 | 長年、日本料理に携わり、伝統的技術を大切にしながらも技術的にも表現的にも新たな試みを加え作り出される料理は、国内外からも注目を集めるところである。昆布文化の中心地である大阪にあって、本人が引く一番出汁は他が多く認めるところである。また、代表料理「雲龍焼き」「伊勢海老柔らか蒸し」「甘鯛海老塩辛焼き」等、独創性と技術の高さに定評がある。  海外からの来客も多く、また海外のイベントに数多く招聘される。他方、大阪料理会等研鑽会で後進の育成に活動を続けている。 |
| 靴デザイナー | たかもと　やすお  高本　泰朗  （４９歳） | 株式会社リゲッタ | 靴の設計・製造に従事し、特に履き心地・歩き心地の良さを追求しつつ、遊び心を感じさせるような靴のデザインにおいて卓越した技能を有している。数多くの表彰や認定、意匠登録を取得する等、機能性を兼ね備えた唯一無二のデザイン性が認められている。  また、社内の若手・中堅技能者や協力会社に積極的に技術指導を行うとともに、市内の小・中学生に向けて講話等を実施し、次代を担うものづくり人材の育成に大いに貢献・寄与している。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 職種名 | ふりがな  氏　　　　名  （年　齢） | 所　　　属 | 技　能　功　績　の　概　要 |
| 微細加工実験工 | うえだ　てるゆき植田　晃之  （６０歳） | 独立行政法人造幣局 | 貨幣の偽造抵抗力の向上に関する研究開発、貨幣製造技術の一層の高度化及び製造工程の効率化に関する研究業務に長年従事しており、特にマシニングセンタによる加工について優れた技能を有している。貨幣用金型へのマシニングセンタによる潜像加工については、長きにわたり研究開発に従事し実用化に繋げるとともに、海外造幣局に対しても技術指導を行っている。  また、その技能を活かし、新製品開発に向けた微細加工技術の実用化に向けても大きく貢献している。 |